

～輝きの子育て～

心に太陽を持て

何かと閉塞感のある日々が続いています。

このような時こそ、親子で声を出して「詩」を読むのもよいかと思います。

「詩」というと高尚な文章と思われがちですが、まずは、声に出す面白さを体験するとよいと思います。

詩には、思わず言葉が口をついて出てくる楽しさがあるように思います。

「心に太陽を持て」という詩を紹介します。

心に太陽を持て

ツエザール・フライシエレン
山本 有三 訳（改訂版）

心に太陽を持て

あらしがふこうと ふぶきがこようと

天には黒くも 地には争いがたえなかりうと

いつも、心に太陽を持て

唇に歌を持て 軽く、ほがらかに

自分のつとめ 自分のくらしに

よしや苦勞が絶えなかりうと

いつも、唇に歌を持て

苦しんでいる人 なやんでいる人には

こう、はげましてやろう

「勇気を失うな 唇に歌を持て 心に太陽を持て」

詩の「音読」に興味のある方は「子ども詩集わくわく」（童話屋）をおすすめします。「心に太陽を持て」は載っていませんが楽しく「暗証」できそうな詩が選ばれています。